

(仮訳)

## 共同プレスリリース

日本の西村康稔経済産業大臣とインドのジョティラディティヤ・シンディア鉄鋼大臣は、2023年7月20日、デリーで会談した。

双方は、経済成長と鉄鋼産業の低炭素化への移行の両方を追求するという基本原則の下、各国の産業の状況と異質性を考慮した政策アプローチを追求することの重要性を強調した。

双方は、インドと日本が世界第2位と第3位の鉄鋼生産国であり、世界の鉄鋼産業において共同利益を享受するパートナーであるという見解を共有した。日本の鉄鋼メーカーによる最近のインドにおける投資活動の拡大を認識し、歓迎するとともに、双方は、世界の鉄鋼産業の適切な発展とインドにおけるより付加価値の高い鉄鋼の生産につながる両国の官民の協力を支持することを決定した。

双方は、それぞれのカーボンニュートラル目標のために、鉄鋼生産の炭素原単位の適切な測定方法を確立させることの重要性を認識した。双方は、鉄鋼産業の脱炭素化経路の異質性を認識しつつ、それぞれのネット・ゼロ目標達成のための協力の重要性を確認した。

このような協力を継続するため、双方は、2023年11月に、官民の参加を得て、鉄鋼生産に関する研修プログラム、エネルギー効率を向上させるための革新的な技術、脱炭素化、資源効率性に焦点を当てた鉄鋼対話およびその他の協力プログラムを通じて、さらなる議論を行うことを決定した。